

## ◆ 2019年度活動報告シート ◆

団体名：彩の国 環境大学修了生の会

22A-09

代表者：代表理事・会長 原 芳彦

URL : sai-syuryosei.eco.coocan.jp/

### 1. 活動が必要とされた状況

当会は「彩の国環境大学」を修了した有志が、学んだ知識や経験を活かした地域貢献等環境活動を行う事を目的として1998年3月に設立された環境団体です。4つの部会（地球温暖化防止、化学物質、生活循環資源、自然環境・教育部会）で色々な環境活動に取り組んで来ました。自然環境部会では県民親子を対象とした自然観察会を行っています。子供たちに自然の素晴らしさと大切さを体験・認識して貰うためにも自然関連のハンドブックが身近に有れば、自然とのふれあいを大切にし野鳥・植物・川魚・昆虫などに、より興味を持ち、観察会に参加して貰えると考えガイドブック作成を企画しました。

### 2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

- (1) 春の自然観察会 4月28日（日）“見てみよう、感じてみよう春の生態園”
  - \* 参加人数：午前の部 96人、午後の部 63人、会員（観察会指導）9人 計 168人
  - \* ガイドブック1冊/親子、首に掛け自然と生態系の観察を学びながら楽しむ
- (2) 秋の自然観察会 11月14日（県民の日）“見てみよう、感じてみよう秋の生態園”
  - \* 参加人数：午前の部 55人、午後の部 35人、会員（観察会指導）10人 計 105人
  - \* 秋は五感（視覚、聴覚、嗅覚、触覚、味覚）を大切に巡回し、自然を堪能した
- (3) 冬のバードウォッチング：2月予定だったが今年度は施設内外の改修工事の為中止
- (4) 当会主催 or 他団体との共催等のイベント事業でのガイドブックの配布・紹介
  - ①12/7SAITAMA 環境子供フェス②2/7-9With You フェス ③3/7-8 浦和コミセン祭り
- (5) かんたん自然観察ガイド冊子：A5 カラー16p 500部
  - \* 配布先：観察会参加者、会員部会長、行政関係者等

### 3. 活動の成果

- (1) 自然観察会で活用：於 環境科学国際センター生態園
  - ①事前予約参加の親子対象に1冊/親子に配布・使用主に子供が首から吊るし、対象を見ながら確認
  - ②同伴の親たちから構成等も、とても良いと好評です
- (2) 当会の催し物・行事及び他団体と一緒にのフェス等参加
  - ③自主制作ガイドブックを通して当会活動を紹介
  - ④講演会や展示会で様々な分野の人達と意見・情報交換
- (3) 新規会員への入会勧誘とツール・機会
  - ⑤昨年度迄は入会説明に苦戦、今年度は手ごたえ有り



春の自然観察会



秋の自然観察会



SAITAMA 環境・子どもフェス

### 4. 今後に残された課題

・最近では政府の働き方改革の影響も有り、環境ボランティア団体への加入年齢も高まり新会員加入に苦戦中。働きながら一緒に環境活動出来る仕組み・体制作りが必要

・地域、特に小中学校への環境学習に役立つ人材育成や現会員のスキル向上・活動ツール充実を図る必要有り